

あきる野市

第27号

# 町・自連会報

発行／平成27年 8月31日 発行者／中村 勇 編集／あきる野市町内会・自治会連合会会報部会

ごあいさつ

あきる野市町内会・自治会連合会

会長 中村 勇

残暑きびしいおり、会員の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのことと心よりお慶びを申し上げます。

今年、あきる野市制施行二十周年を迎え誠にめでたうございます。

町内会・自治会は昭和二十七年に自治組織（任意団体）として組織化されるようになり、今日まで続いております。

私共八十一からなる町内会・自治会連合会は、平成十一年合併以来十六年間、あきる野市の安全・安心のまちづくりを市と協働して市政の一翼を担い、地域の連帯感の中で豊かな心を持ち、会員各位のご協力によりまして、健全に活動しております。

さて、連合会は規約で「町内会・自治会の自主性と民主的精神を尊重し、市民生活の向上と福祉の増進に寄与するとともに行政に協力する」とを目的としています。

最近では、各地での火山活動、地震、集中豪雨等による災害が多発しております。

災害等から身を守るには、会員各位はもとより、地域の方々が協力する事が大切と考えております。

また、近年、核家族化、少子高齢化の進行、住民意識の多様化、地域の希薄化、などが進み私たちを取り巻く環境は大きく変わってきています。

昨年度は、東京都の「地域の底力再生事業助成」を頂き、『いのちをつなぐ見守り活動に参加を』の事業を、「皆さんの手でもっと住みよい街に」、想いで実施しました。

『雲門広録』には、「南山に鼓を打てば北山に舞う」と言う言葉があります。

人は決して一人では生きられません。必ずどこかの、何かの組織に所属しています。人間関係のない社会はありません。

えないとの思いで活動しています。

もつと心地よい人間関係を保つために「和」と言う言葉があります。意味は、「分かり合い、いたわり合う、素晴らしい時間」と考え、私たちが出来ることから一つずつ心がけていくことが、重要と考えています。

地域での子育てや福祉、防災や防犯など、地域社会が抱える問題は、多岐に及んでいます。

これらの問題は、個人の力では解決は望めず、地域の人ひとりが共通の課題として認識し、市と地域住民が協働して課題解決に取り組むことが、地域コミュニケーションづくりの中心になると思います。

そして、住みよい地域社会づくりの原動力となっております。地域の活性化と底力を必要

とする時、地域の一体感を持った取り組みが必要と考えます。

今後とも、行政ご当局をはじめ、連合会会員各位のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



中村会長

平成二十七年 度 あきる野市町内会・自治会連合会定期総会

平成二十七年 度 新町内会長・自治会長

平成二十七年 度定期総会 は、四月十七日(金) あきる野ルピア三階「ルピアホール」で、あきる野市長臼井孝様をはじめ多くの来賓の方々のご臨席を賜り、開催されました。本年度は、町内会長・自治会長の改選は七名で、退任される会長に感謝状が贈られました。

中村連合会長は挨拶で、二十六年 度の事業運営の総括について述べました。

続いて、正副議長を選出、議事に入り、平成二十六年 度事業、活動報告、会計決算報告、会計監査報告を承認、平成二十七年 度活動計画、会計予算案等が審議され、全会一致で採択されました。

平成二十七年 度の事業・活動計画に町内会・自治会の総合的課題、広報、高齢者の見守り、自主防災組織の整備等が確認され閉会しました。

(会長代行 山中利勝)



退任される方のご挨拶

町内会・自治会	町内会長・自治会長
大塚自治会	岩野和雄
ホームタウン秋川自治会	鈴木亮一
西ヶ谷戸町内会	佐藤富治
原小宮町内会	小柳津茂
草花住宅自治会	堀米恵
ブリティッシュタウン自治会	古山農恵
西伊奈自治会	田村百蔵
小机自治会	宮田信夫

祝 あきる野市制施行20周年 第20回あきる野市民スポーツ・レクリエーション大会に参加して

平成27年5月10日(日)に都立秋留台公園で、あきる野市制施行20周年第20回あきる野市民スポーツ・レクリエーション大会が開催されました。

今年、あきる野市制施行20周年となる、記念すべき大会でもあり、大いに盛り上がった大会でした。

四軒在家町内会は、子供達から年配者まで幅広く多くの会員に参加していただきました。

テント内での応援も熱く、

町内会・自治会対抗競技のゲートボールリレー、ボールアップダウンリレーでの出場選手の人選は町内会の体育委員が中心で行い、その競技に参加経験がない選手も他の選手と懸命に力を合わせて張り切り、手に汗握る競技で笑い感動をいただきました。

また、最終種目の「町内会・自治会対抗リレー」男女混成の部に出場しました。

このリレーにおいては、昨年の第19回あきる野市民ス

ポーツ・レクリエーション大会にも男女混成の部に出場し、優勝に一步及ばず惜しくも準優勝の成績でありました。

テント内では大声で全員総立ちの応援。スタートの号砲から他の選手を引き離れた第一走者、第二走者、つなぎの第三走者、そのままぶっつぎりの第四走者、素晴らしい走りでのトップのゴールイン！。

今回は、見事優勝を勝ち取り、さらには誇れる大会記録もいただきました。

このスポーツ・レクリエーション大会を通じて、幅広い年齢を超えた相互の交流と親睦が深められ、また、各種目出場選手を中心として応援者が一丸となり素晴らしい団結が図られ、さらには互いに協力し合う気持ちの大切さを体験させていただきました。

四軒在家町内会

会長 田中 惟一



### 第四回防災隣組認定について

五日市地区防災・安心地域委員会

委員長 今野 治雄

四月十九日、東京都庁にて開催された、第四回東京防災隣組認定式に、委員会役員五名で出席して来ました。

東京都は、意欲的な防災活動を行う団体を、東京防災隣組として認定しています。



あきる野市では、増戸、西秋留、多西地区に続いて当地域委員会が四番目の認定団体となりましたが、一つの市が四年連続で認定されることは異例のことだそうです。

五日市地区の各団体が一体となり、安否確認旗の各戸配布や確認訓練の実施、避難所

の運営、防災訓練時の要援護者対応、高齢者見守り事業による地域住民とのコミュニケーション、災害図上訓練による防災意識の向上、及び防災用簡易無線機を使つての情報伝達訓練の実施等が、多様な団体との協働による地域防災力強化に向けた取組として評価されたものであり、地域委員会は、今後とも各自治会が中心となり推進する、自助、共助（近助）活動のお手伝いを行つてまいります。



## 自治会紹介

落合自治会

会長 萩原 泰壽

落合自治会は、JR武蔵五日市駅前から檜原街道を西に向かって約4キロメートル先の「十里木」信号を右に入った、秋川本流と養沢川が合流するところに位置しています。

当自治会は44世帯で、自治会加入率は約98パーセント、人口113名と非常に小規模ですが、昔から住民間のつながりが強いこともあって、コミュニケーションは極めて良好です。

当地区の特徴として、北側から東側にかけての小高い場所は「宇佐岳（うさだけ）」と「加茂原（かもっぱら）」と呼ばれ、その地下には縄文前期の居住遺跡が眠っています。特に、加茂原はその昔、神の住む特別な場所として神聖視されていたようです。さらに、平安時代初期に書かれた仏教説話集である「日本霊異記」に登場する吉志火磨（きしのほまる）は、この加茂原の住人だったとの説もあるようです。

西側には平成19年4月にオープンした「秋川溪



加茂原周辺景観整備事業地からの景観

谷瀬音の湯」があり、現在あきる野市を代表する観光施設となっています。

また、養沢川沿いにおいて、春の梅や桜の開花時期が特に美しく、境内に「五日市七福神」をまつ「徳雲院」は、6月下旬から7月上旬にかけて発生するホタルの鑑賞スポットとして毎年多くの鑑賞者で賑わいます。



早春の徳雲院周辺（ホタルの保護活動地）

このように、古代からの歴史と景観に富んだ当自治会は、約20年ほど前から、生活環境を考えた事業に力を入れています。主な事業としては、あきる野市と協働で行っている「加茂原周辺景観整備」を始め、「ホタルの保護育成活動」「防犯対策活動」「資源回収活動」「公衆トイレ清掃活動」等、いずれも生活環境の改善を図るための活動です。

当自治会は、「みんなでつくろう住みよい環境」をスローガンに、地域の人々が「ここに住んでよかった」「いつまでも住んでいたい」と思えるような地域づくりを推進しています。



## 「増戸中・特別賞」 第五回防災コンクール

あきる野市防災・安心地域委員会

本部長 倉田 克治

第五回防災コンクールは、六月六日、秋川駅南口運動広場で開催しました。今年は、春先開催の要望が多くこの時期になりました。

梅雨空の中、心配されましたが、好天に恵まれ、好コンディションの中、十九チームが参加して行われました。

市の方針である「子供が主役のまちづくり」の一環から、「中学生」の参加を呼びかけたところ、増戸中のボランティア部が参加。上々の出来で「特別賞」に輝きました。

また、今年は技術レベルが全体に向上し、審査員泣かせの競技会となりました。

結果は、優勝戸倉A、二位多西A、三位東秋留C、四位増戸B、五位多西Cでした。

今年も女性チーム(多西C)が入賞し、女性の活躍が目立ちました。



## 役員会・全体会の協議事項

### 平成二十七年

- 四月十七日(総会)  
平成二十七年定期総会
- 五月十三日(役員会)  
△二十七年社会福祉協議会の事業について  
△あきる野市いじめ防止対策推進条例について  
△あきる野市地域子ども育成リーダーについて  
△あきる野市まち・ひと・しごと総合戦略について  
△コミュニケーション事業交付金事業実績報告会について  
○連合会費の徴収について  
○二十七年事業計画及び視察研修会幹事について
- 六月十七日(役員会)  
△社会福祉協議会からの協力依頼
- △小和田花火大会への協力について  
△第六十五回社会を明るくする運動への協力依頼  
○コミュニケーション事業交付金事業実績報告会等の実施  
○全体会・役員会について  
●七月十五日(役員会・全体会)  
△自衛官募集について  
△社会福祉協議会各種事業への協力依頼  
△市制施行二十周年記念式典について  
△秋川地区女性防犯指導員候補者の推薦について  
○二十七年の事業計画  
○二十七年視察研修会について  
○各支部からの報告  
(会報部会 萩原 泰壽)  
(注) ○印は、連合会協議事項  
△印は、市からの報告事項

## 地域の話題 乙津自治会 皂莢(さいかち)の木



あきる野市指定保存樹木

- ・マメ科の落葉高木で日本固有種
- ・五月下旬から六月上旬ごろ黄緑色の花を付ける
- ・実は漢方薬に利用される

## 編集後記

平成二十七年度も、三分の一が過ぎ、春・夏の行事を終え、秋から冬に向けての事業準備に取り組み始めているのではないかと思います。

各種事業の実施に当たっては、会員の皆さんに楽しんでいただけるのか、意義あるものであるのか等々：思いを廻らせながら、取組んでいるのではないかと思います。

より強い繋がり「絆」が生まれるのか、加入促進や退会防止に結び付けられるのか等。

また、町内会・自治会会報も会員の皆様に情報や話題がお伝えできているのか、未加入者にも読んでいただいているのか等、非常に難しい課題だと思えます。

今回も、ご多忙の中、快く執筆にご協力いただいた皆様と、何回も編集会議等にご協力いただいた会報部会の皆様にお礼申し上げます。

(会報部会 野崎 忠)